

平成30年度 教員免許状更新講習 計画書(シラバス)

責任者:総合メディア基盤センター 東野 正幸

講習名	オープンデータ概論ー地域と連携したICT教育の実現に向けてー					
開設場所	鳥取キャンパス	会場	総合メディア基盤センター コンピューター演習室1			
開設日	平成30年7月1日(日)					
主な 受講対象者	幼稚園教諭	○	小学校教諭	○	中学校教諭	○
	高等学校教諭	○	特別支援学校教諭	○	養護教諭	○
	栄養教諭	○				
	特記事項	これまでに本講習を受講されていない方を対象とします。パソコンの基本的な操作方法(ウェブブラウザ及び表計算ソフトウェアの基本的な操作方法)を習得していることが望ましい。本講習は情報に関する教科だけでなく様々な教科の担当者を受講対象者と想定している。				
受講定員	50人					
講習の目標	(1) オープンデータに関する基礎知識(目的、著作権、ライセンス、データ形式、近年の動向)を修得する。 (2) 地域のオープンデータをICT教育に活用する手法を実践的に学ぶ。 (3) オープンデータを介して地域と連携したICT教育を実施する手法を実践的に学ぶ。					
講習の内容	近年、「オープンデータ」とよばれる誰でも自由に閲覧、利用、修正、共有可能なデータのライセンス形態の活用が世界的に広がってきている。日本でも官民データ活用推進基本法(平成28年法律第103号)の施行により、国、地方公共団体、事業者に対して官民データ活用に関する責務がそれぞれ定められており、教育機関にも少しずつ広がりを見せている。本講習では、地域のオープンデータを授業に取り入れ、データを閲覧、利用、修正、または作成し、それを地域に還元するプロセスを教育活動に取り入れることで、オープンデータによる地域と循環連携したICT教育の実現方法を実践的に学ぶ。					
修了認定の方法	筆記試験による。					
講師から 受講生への メッセージ	多くの方々にとって「オープンデータ」といった言葉はあまり聞き慣れない用語かと思います。しかし、ICTの発展にはこれまで「オープン」という考え方が大きく寄与してきました。本講習では、これからICT教育を実践したいと考えているの方々には、ぜひ「オープン」の定義について考える機会を持って頂ければと思います。					
持参物等	①服装等 ②持参物 ③その他連絡事項等		①自由です。 ②筆記用具/USBメモリ(作成したデータをその場で持ち帰りたい受講生のみ。) ③特にありません。			
日 程	時 間		内 容		担当教員	
	8:30~ 8:55		受付			
	9:00~ 9:05	(5分)	オリエンテーション		総合メディア基盤センター助教 東野正幸	
	9:05~ 10:25	(80分)	1限目	オープンデータ概論(目的、著作権、ライセンス、データ形式、近年の動向)	総合メディア基盤センター助教 東野正幸	
		(15分)	休憩			
	10:40~12:00	(80分)	2限目	地域におけるオープンデータの活用事例	総合メディア基盤センター助教 東野正幸	
	12:00~13:00	(60分)	昼休憩			
	13:00~14:20	(80分)	3限目	オープンデータを活用した授業のデザインワークショップ(グループ実習)	総合メディア基盤センター助教 東野正幸	
		(10分)	休憩			
	14:30~15:50	(80分)	4限目	オープンデータを活用した授業のデザイン発表会(グループ発表)	総合メディア基盤センター助教 東野正幸	
		(10分)	休憩			
	16:00~16:05	(5分)	修了認定試験に関する説明		総合メディア基盤センター助教 東野正幸	
	16:05~16:45	(40分)	修了認定試験		総合メディア基盤センター助教 東野正幸	
16:45~16:50	(5分)	事後評価記入・事務連絡				